



## こわい人がやってきた!?～不審者対応避難訓練 6/1(月)

この度、幼稚園に不審者が侵入してきたことを想定して、避難訓練を実施しました。不審者(塚原運転手)が園舎裏から侵入し、もも組の教室をのぞいたり声をかけたりしたことで、担任の須永保育教諭が声をかけて対応しました。ナイフを持ち侵入者の言動がおかしいということから、須永保育教諭は危険な不審者と判断し、副担任の新井佳保育教諭に不審者侵入を伝え、教室から園児を避難させました。そして、もも組の園児を隣のすみれ組の塚越保育教諭に託しもも組に戻った新井佳保育教諭と、職員室から助けに駆けつけた森運転手が須永保育教諭と一緒に不審者に対応しました。

その間、それぞれの学級の園児は担任の指示に従い、静かにテキパキと野球場の方へ無事避難できました。今回の避難訓練では、園児が落ち着いて静かに避難できたのが立派でした。

避難が確実にできた後は、全員が遊戯室に集まり、園長より「悪い人が幼稚園にやってきたら」と「知らない人が誘ってきたら」の二つの場面について、お話をしました。その中で、『いか・の・お・す・し』という話から、知らない人に誘われても絶対に車に乗らないこと、大きな声を出して、周りの大人に助けを求めることを伝えました。また、二人の保育教諭より紙芝居の発表もありました。



## 年長組園児によるさつまいもの苗植え 6/2(火)

6月2日(火)に、年長組10名の園児がさつまいもの苗を植えました。始めに、園長から、苗をどのように植えるのか説明を受けました。「たくさんのさつまいもが取れるといいな」という思いから、聞いている態度は真剣です。畑に行くとき、運転手さんが畝を作ってくれていて、その畝に苗を植える場所が分かりやすいように棒を立ててくれています。子どもたちは、棒を引き抜き、穴の開いた場所に苗を植えました。全クラスの子供たちの分のさつまいもが取れるかどうかは、年長組の子供たちの腕にかかっているので、誰もが真剣です。植える苗は全部で150本ですが、子どもたちはその30本を植え、残りは運転手さんに植えてもらうことにしました。

さつまいも掘りは、10月に予定しております。それまで、大事に大事に育て、おいしいさつまいもが食べられることを楽しみにしています。

